



安全航行のために
その1

点検整備で安全航行を！

東北地方における過去10年間におけるプレジャーボートの事故のうち、**機関故障**が最も多くなっています。機関故障の主な原因は、

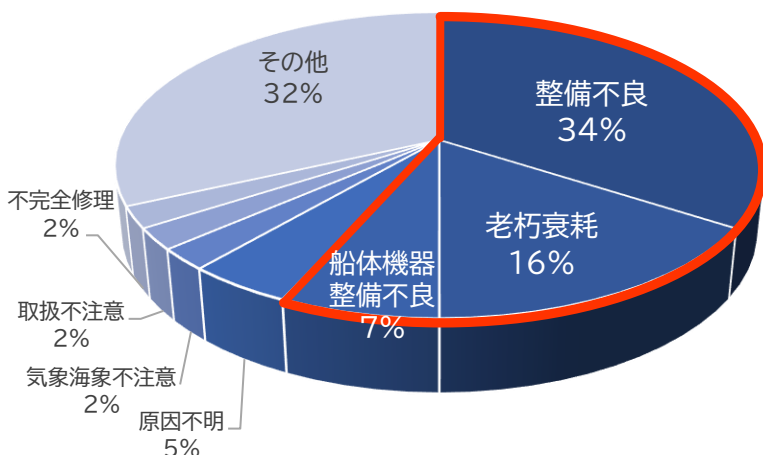
①整備不良34%、②老朽衰耗16%、③船体機器整備不良7%で、

あわせると全体の**約6割**を占めています。

これらは、整備事業者等による定期的な点検によって防ぶことができた可能性があります。



機関故障の原因(①～③)を未然に防止するためには、**整備事業者等による定期的な点検や部品の交換が必要です！**



メンテナンスガイド



日本小型船舶検査機構
ホームページ



日頃の点検を習慣にしましょう。

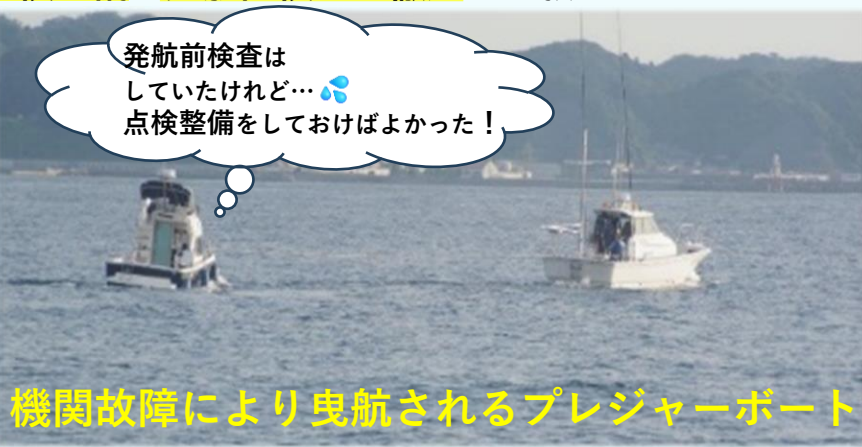
あなたと同乗者の命を守るために！

機関故障により、船体漂流、乗揚、衝突などの二次海難が発生し乗船者の命を脅かす事態になりかねません。安全にボートを運航する上で、**メンテナンスは必須**です。
整備事業者等による定期的な点検整備と発航前検査の徹底をお願いします。

事故を防止するためにも、**整備事業者等による定期的な点検整備と発航前検査を徹底**することが重要です！



発航前検査は
していたけれど…
点検整備をしておけばよかった！



機関故障により曳航されるプレジャーボート



発航前検査を実施しましょう！

発航前検査は船長の義務です！

- イ 燃料及び潤滑油の量の点検
- ロ 船体、機関及び救命設備その他の設備の点検
- ハ 気象情報、水路情報その他の情報の収集
- ニ イからハまでに掲げるもののほか、小型船舶の安全な航行に必要な準備が整っているかについての検査

発航前検査の義務違反は行政処分の対象になることがあります。
安全に航行するためにも、しっかりと検査を実施しましょう。

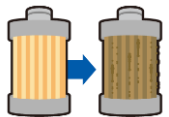
01 燃料系

- ☑ 燃料の残量を確認



日頃の燃料消費率、給油量をしっかり把握し、燃料が十分あるか確認しましょう。

- ☑ 燃料フィルタに詰まりがないか確認しましょう。



機関の回転不良等があると、燃料フィルタが詰まっている可能性があるため、必要に応じ整備・交換しましょう。

02 潤滑油系

- ☑ 潤滑油の残量を確認

- ☑ オイルフィルタが汚れていないか確認しましょう。

オイルが乳化(白濁)している場合は水分混入が考えられます。



正常



乳化

03 電気系

- ☑ バッテリー液量を確認

バッテリーは定期的に交換しましょう。



- ☑ バッテリーターミナルの接続状況を確認しましょう。



端子の焼損



配線被膜劣化

04 気象・水路情報

- ☑ 気象情報の収集

特別警報、警報又は海上警報について確認しましょう。



- ☑ 水路情報の収集

小型船舶の航行の安全を図るため、海図等の公刊情報を確認しましょう。



05 船体・機関・救命設備など

- ☑ 船体に亀裂や破口はないか。
- ☑ 船底プラグは閉鎖されているか。
- ☑ 舵・スロットル・クラッチレバーはスムーズに動くか。
- ☑ プロペラや舵、チルト装置に不具合はないか。
- ☑ 救命設備に不具合はないか。



一小型船舶操縦者の遵守事項一

- ① 酒酔い等操縦の禁止
- ② 有資格者による自己操縦義務
- ③ 危険操縦の禁止
- ④ 救命胴衣等の着用義務
- ⑤ 発航前検査の実施義務
- ⑥ 見張りの実施義務
- ⑦ 事故時の対応



二 管 区
公 式 X
発 航 前 検 査



発 航 前 検 査
チェックリスト

発航前検査は
船長の義務です



モーターボートの事故防止

Water Safety Guide



第二管区海上保安本部 海の安全推進本部(交通部安全対策課)

〒985-8507 宮城県塩釜市貞山通3-4-1 TEL022-363-0111(代表)



海の安全情報

WaterSafetyGuide

